

赤字削減・解消計画の実施状況

1 赤字削減・解消計画の概要

- 赤字削減・解消計画は、決算で生じた赤字が決算年度の翌々年度までに解消が見込まれない市町において策定する計画です。
現在、高松市と観音寺市の2市が計画を策定しています。
- 令和4年度決算において、2市ともに決算補填等目的の一般会計からの繰入はありませんでした。(高松市は令和2年度～)
- 令和5年度に、高松市から赤字解消目標年度を令和9年度から令和8年度に変更する計画書の提出がありました。
【赤字解消目標年度】高松市：令和8年度(令和9年度から変更)、観音寺市：令和5年度
- 県としては、2市が安定的な運営を継続することにより計画終了となるよう、市の取組状況を確認するとともに協議を行います。

(単位：千円)

| 市町名 | 赤字額※ | 赤字削減予定額 | | | | | | 市町の主な取組内容 |
|------|---------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--|
| | | H30年度 (2018) | R1年度 (2019) | R2年度 (2020) | R3年度 (2021) | R4年度 (2022) | R5年度 (2023) | |
| 高松市 | 775,297 | 172,691 | 49,309 | 77,530 | 77,530 | 77,530 | 77,530 | 保険料水準の検討や収納対策の強化。 事業内容の総点検及び見直しによる経費削減。 保険者努力支援制度等の活用による財源確保。 保健事業の取組強化による医療費の適正化。 赤字解消目標年度：令和8年度(令和9年度から変更) |
| 観音寺市 | 205,506 | 100,000 | 5,000 | 5,000 | 10,000 | 50,000 | 35,506 | 保険者努力支援制度による歳入確保。 医療費適正化対策事業の推進。 納付方法の拡大等による収納率の向上。 赤字解消目標年度：令和5年度 |

※赤字額は、H28(2016)年度に発生した額

2 各市の赤字削減・解消計画実施状況報告書（概要）

（単位：千円）

| 市町名 | 令和4年度(2022)の状況 | 実施状況の詳細 | 今後の取組み |
|------|------------------------------|---|--|
| 高松市 | 赤字額※ ----- 775,297 | <p>被保険者数減に伴う保険給付費等の減少により、法定外繰入金は引き続き発生しなかったが、今後とも、被保険者数の減少や、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和するなか、今後の医療費の動向が見通し難いなど、先行き不透明な状況が続くことが予想されるため、引き続き、本計画に基づき、赤字削減、解消に努める。</p> <p>①保険料の適正化に向けた検討や収納対策の強化 「高松市国民健康保険料収納率向上プラン」を策定し、執行停止処分や、市外転出者への納付依頼を強化して不良債権の減少に努めた。 執行停止件数：R3年度2件2,761千円→R4年度265件21,356千円 市外転出者への納付書送付件数：448世帯</p> <p>②事業内容の総点検及び見直しや県支出金等の更なる公費の獲得 歳出面では、事業内容の総点検や見直しを行い、経常経費の削減に取り組んだ。歳入面では、特別調整交付金等の新規追加メニューの獲得に向けて取り組むなど、積極的な財源確保を行った。 歳出総額（保険給付費除く）：R3年度122.3億円→R4年度116.4億円 県支出金（特別交付金）：R3年度7.0億円→R4年度7.3億円</p> <p>③各種保健事業の取組強化及び医療費の適正化 特定健診において新たにSMSを利用した受診勧奨を開始するなど、保健事業の取組強化を行い、医療費の適正化を目指して取組を行った。 保険給付費：R3年度307.4億円→R4年度299.6億円</p> | <p>①保険料の適正化に向けた検討や収納対策の強化 保険料改定後の国保財政状況の把握・分析を行うとともに、県内保険料水準の統一化も見据えながら、安定的かつ持続可能な国保運営のために必要な金額及び適正な保険料水準について検討を重ねる。また、令和4年度中に策定した「高松市国民健康保険料収納率向上プラン」に基づき、引き続き効果的な収納対策に取り組む。</p> <p>②事業内容の総点検及び見直しや県支出金等の更なる公費の獲得 歳出面では、事務の総点検及び見直しを行い、経常経費の削減に取り組む。歳入面では、国の保険者努力支援制度や特別調整交付金、都道府県繰入金等について、対象事業内容の総点検及び必要に応じ見直しを行い、積極的に財源確保に取り組む。</p> <p>③各種保健事業の取組強化及び医療費の適正化 各種保健事業等の取組の強化を行い、医療費の適正化を図る。</p> |
| | 削減予定額 ----- 77,530 | | |
| | 赤字削減額 ----- | | |
| | 決算補填等目的の 一般会計からの 繰入は無い | | |
| 観音寺市 | 赤字額※ ----- 205,506 | <p>・令和4年度については、決算補填等目的の法定外繰入は解消した。</p> <p>・国特別交付金については、保険者努力支援制度で得点率を2.2ポイント上昇させるなど公費獲得に努めた。</p> <p>・また、口座振替の促進により口座振替の加入率が0.8ポイント上昇するなど、納付の利便性向上に努めた。</p> <p>・医療費適正化については、毎年の医療費分析やデータヘルス計画を参考に、医療費の抑制につながる取組に引き続き取り組んだ。</p> | <p>・今後も調整交付金の結核精神での財源確保に取り組んでいく。さらに、特定健診の未受診者対策を強化し、受診率向上による保険者努力支援制度での財源確保を目指す。</p> <p>・税率の引上げに関しては、令和3年度で赤字が大幅に削減されたが、今後後期高齢者に移行する団塊の世代の動向、社会保険の適用拡大、新型コロナウイルス感染症等、国保財政にとって不透明な要素が大きいため、適宜税率改正を検討することとする。</p> <p>・収納率は94%台からさらに向上できるよう、収納部門と連携の上、さらなる取組を検討する。</p> |
| | 削減予定額 ----- 35,506 | | |
| | 赤字削減額 ----- | | |
| | 決算補填等目的の 一般会計からの 繰入は無い | | |

※赤字額は、H28(2016)年度に発生した額